

平成22年度 事業報告

1. 事業概要

国内の経済情勢は、近年の長引く景気低迷に加え、依然として厳しい雇用の状況が続いています。また、公共施設の一部管理業務や企業の就業人員の減などがあり、さらには、政府の行政刷新会議の「事業仕分け」で援助事業費7.4%が削減されるなど、大変厳しい環境下で事業を展開してまいりました。

特に、会員の高齢化による退会者の増加や期待していた団塊世代の新規加入者の伸び悩みなどもあったことから課題を残す結果となりました。

一方、国の補助金が削減される中、市の補助金においては前年度と同額が確保され、センターとしても運営基盤の強化に一層努めてきたところであります。

こうした情勢の中にあって、当センターは会員並びに役職員が一丸となって目標の達成に取り組んできました。

平成22年度の事業実績といたしましては、前年度実績から見ると登録会員数は減少し、受注件数、受注契約金額はともに微増になりました。受注契約金額の内訳を前年度実績に比較すると公共事業1ポイント、一般家庭1ポイント、自主事業1ポイント減少しましたが、民間企業1ポイント増加しましたので、総額で199,724千円になり、率では0.1ポイント上回る結果になりました。

平成22年度の事業運営に当たりましては、一定の実績を確保出来ましたことにご支援、ご協力をいただきました市民・企業・団体そして北広島市ならびに、会員の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

区 分	平成21年度	平成22年度	比較増減	対前年度比
登録会員数	530人	517人	△13人	97.5%
受注件数	2,482件	2,635件	153件	106.1%
受注金額	199,594千円	199,724千円	130千円	100.1%
就業率	88.1%	87.6%	△0.5%	99.4%

2. 事業の実施内容

(1) 普及啓発に向けた取り組み

- ① 会報「ふれあい」を毎月と「ふれあい特集号」を年2回発行し、会員の意識の高揚と連帯感の助長を図るとともに、毎月北広島市の広報（1日号・有料）にシルバー人材センター専用のスペースの中で、これまで以上の普及啓発に努めました。さらには、各種事業に合わせて普及啓発用リーフレット、チラシの配布やポスターの掲示も行いました。

- ② 地域社会への貢献とシルバー事業の普及啓発を目的に本年も7月31日（土）に公共施設6ヶ所で、「一日奉仕デー」を実施いたしました。
- 当日は天候にも恵まれ、一生懸命作業に取り組んでいただきました147名の参加者の皆さんに深く感謝申し上げます。また、「一日奉仕デー」とは別に7月24日（土）に草刈り班の協力を得て、市役所前庭の草刈りを実施いたしました。
- さらに、市民との交流事業として「シルバーふれあい祭り」を開催するとともに、当センター紹介をパネルによって啓蒙活動を行いました。
- ③ 10月の全国統一シルバー普及啓発促進月間には、JR北広島駅において理事全員と職員によるリーフレットを活用した街頭啓発活動を行いました。また、木工展示即売会に合わせシルバー事業パネル展の開催のほか、会員の皆さんにも協力をいただき会員一人5枚のリーフレット配布を実施しました。
- ④ ホームページは、随時更新しながら、より新しい情報の提供に努めました。

（2）就業機会の確保

- ① 厳しい雇用環境の中で、役員全員と職員による就業機会の可能性が高い13企業等を再訪問して就業拡大に努めました。

（3）技術・技能習得に向けた講習会への取り組み

① 単独講習会

会員が新たな知識・技能を身につけることは、就業機会の拡大に繋がることから網戸張り、剪定、刃物研ぎなどの他7講習会を実施し、延べ234人の参加がありました。

（4）安全対策と事故防止に向けた取り組み

- ① 就業中の安全確保と事故防止は、最優先で取り組む課題で「事故ゼロ」を目標に取り組みましたが、残念ながら物損4件の事故が発生しました。
- ② 全国安全就業強化月間にあわせ、7月に「安全大会」を開催したほか安全就業と交通安全にかかる標語募集を行い安全に対する啓蒙に努めました。標語募集の結果、安全就業標語個人の部に37点、職域班の部に6点 交通安全標語の個人の部に27点、職域班の部に7点があり、例年に比べ4点ほど多い応募になりました。
- また、1月には北広島自動車学校の協力を得て、「冬道の安全運転講習会」を開催し、参加した会員から貴重な体験として高い評価をいただきました。
- ③ 安全委員会では、理事会と連携を図り就業現場の巡回パトロールを5回実施して、安全就業への呼びかけを行いました。
- また、安全委員会を年3回開催し、協議された内容のうち必要に応じて安全推進員が職域班に安全対策などの要請をしました。

(5) 独自事業の推進

- ① 当センターが自ら就業機会の拡大に努めるための事業として、花苗の育成販売、木工品の製作販売そして腐葉土の製造販売の3事業に取り組んできました。近年、市民に広く認知されて事業が安定していましたが、特に花苗について公共の受注が減少してきております。また、木工が大きく販売を伸ばしております。

(販売額 花苗 2,956千円、腐葉土 2,301千円、木工 1,448千円)

(6) 企画提案方式事業の取り組み

- ① 当センターは平成21年度に事業採択を受けて、環境・教育の分野で事業を開始いたしました。環境分野では、公園等の清掃から発生する落葉を活用した腐葉土づくり事業、古布回収リサイクル事業、教育分野では、小学生を対象にした落葉を資源化する腐葉土づくり体験事業(腐葉土づくり体験教室)を実施いたしました。22年度の企画提案目標もすべて達成いたしました。

(3カ年の2年目)

(7) 会員の福利厚生

- ① シルバー人材センターの互助会は、主として福利厚生事業を企画実施していることから活動費の一部を助成しました。

(8) 組織の活性化

- ① 組織の執行機関である理事会(7回)のほか、部会を開催し、事業の適正運営と組織の活性化に努めました。

また、理事研修として「シルバーフェア北海道2010経験交流・安全大会」に参加し研修を深めました。さらには、恵庭市シルバー人材センター役員との研修交流も本市で開催いたしました。

- ② 地域班長からも積極的に組織運営に係る意見をいただく一方、地区懇談会を開催し、会員の意見もいただきながらセンター運営に努めました。

- ③ 当センター運営を円滑にしていくため、北広島市に要望書の提出、又北海道シルバー人材センター連合会や道内の各センターとの連携を図るとともに、毎月事務局会議を開催し課題等の解決を図ると共に各種研修会・講習会に積極的に参加させ、職員の資質向上に努めました。

(9) 財政基盤強化対策

国内の経済状況は、一部の消費の伸びがあるものの(家電・自動車)長引く景気の停滞から雇用不安も解消されず、依然として厳しい状況になっております。

当センターにおいては、公共施設管理業務の減少や民間事業所から提供されていた就労機会が減少したものの、会員、役員そして事務局職員が一丸となって、安定した事業の推進と経費の節減を基本に財政基盤の強化に向けて、企業への働きかけのほか、個人宅などの受注拡大を目指したきめ細かな就業拡大のPRに努めるとともに、賛助会員の勧誘を進め、さらには就業開拓や独自事業にも積極的に取り組んでまいりました。